

松江

Mat Sue



シーズンイベント情報

●国宝松江城「お城まつり」(3月下旬～4月中旬)

さくら名所100選に選定されている松江城山公園で開催。ソメイヨシノを中心に約200本の桜が開花し、ぼんぼりのライトアップで夜桜が楽しめる。期間中の土・日の昼間に様々なステージイベントが行われ、天守閣のある本丸は21時まで開放される。

●松江武者行列 (4月上旬)

松江城を築城した堀尾吉晴公一行が松江城に入城する様子を絢爛豪華に表したもの。勇壮な武者や色鮮やかな姫などに扮した大勢の市民が参加、松江城を目指し、桜咲く松江市内を練り歩く。

●松江水郷祭 (8月第1土・日(予定))

宍道湖の美しい湖面を活かした「西日本最大級の湖上花火大会」、ステージイベントや飲食ブースを展開する「松江だんだんまつり」協賛イベントなど、多彩なイベントが目白押し。

●松江水燈路 (9月下旬～10月中旬)

松江城や塩見繩手周辺をライトアップする光のイベントで、夜の散策路が灯りにより美しく演出される。市民の手作りを含む多数の行灯がゆらめき、城下町ならではの光と影が織りなす景観を楽しむことができる。

●松江祭鑿行列 (10月第3日曜日)

鉄の車輪のついた屋根つき山車屋台に鑿(どう)と呼ばれている太鼓が、笛や和楽器の一つであるチャンガラの音色にあわせ十数台で行列し、松江の開港場を祝う勇壮な音色が市中に響きわたるお祭り。

松江へのアクセス

●飛行機

東京(羽田)～出雲 約1時間30分
名古屋(小牧)～出雲 約1時間
大阪(伊丹)～出雲 約50分
福岡～出雲 約1時間15分 ■空港連絡バス(出雲～松江) 約30分
東京(羽田)～米子 約1時間20分 ■空港連絡バス(米子～松江) 約45分

●鉄道

東京～岡山 約3時間20分(新幹線)
名古屋～岡山 約1時間40分(新幹線)
新大阪～岡山 約45分(新幹線)
博多～岡山 約1時間45分(新幹線)
■岡山～松江 約2時間40分(JR特急やくも)

お問い合わせ先：松江商工会議所
TEL/0852-32-0504

Place 01

国宝松江城周辺散策(堀川めぐり・塩見繩手)

松江のシンボル国宝松江城とそれを囲む堀は、築城約400年の時を越え、城下町の風情を色濃く残す。約3.7kmの堀川を小舟に乗って巡る「堀川めぐり」は、大小の橋をくぐりながら「水の都」松江の水景を楽しめる。まちあるきでは、武家屋敷の残る「塩見繩手」が堀端の中で最も江戸時代の風情を感じられるスポット。



〒690-0876 島根県松江市黒田町507-1 TEL/0852-27-0417

営業時間/9:00～17:00(季節によって変動・約20分間隔で運航) 定休日/無休
乗船料/大人1,600円 <https://www.matsue-horikawameguri.jp/>

Place 02

明々庵

大名茶人として名高い松江七代藩主、松平不昧公によって建てられたという茶室。庭を臨む和室では、お抹茶と不昧公ゆかりの和菓子をいただくことができる。



〒690-0888 島根県松江市北堀町278

TEL/0852-21-9863

営業時間/4～9月 8:30～18:30 ※最終受付18:10 (抹茶時間 9:50～16:30 ※最終受付16:30)
10～3月 8:30～16:00 ※最終受付 16:00 (抹茶時間 9:50～16:30 ※最終受付16:00)

定休日/年中無休 観覧料/大人410円(抹茶一服410円)

<http://www.meimeian.jp/admission/index.html>

Place 03

八雲塗(絵付け体験)

大名茶人 松平不昧公が、金沢などから職人を呼び寄せ自分好みの漆器を作らせたのが松江の漆器づくりの始まり。後に松江藩お抱えの塗師が「八雲塗」を考案した。塗り重ねた透漆が年月を経るごとに透明度を増していく、下に描かれた模様が色鮮やかに浮かび上がるのが八雲塗最大の特徴である。明治創業の八雲塗の老舗「八雲塗 やま本」では、店内の製作工房で漆絵の絵付け体験ができる。フリーハンドでの絵付けではなく、転写された輪郭の中を色塗で埋めていくので、大人の塗り絵感覚で楽しんでみては。



Place 04

宍道湖クルーズ 宍道湖観光遊覧船「はくちょう」



城下町の美しい風景観を湖上から眺めることができるクルージング。大橋川から宍道湖に入り、爽快な水辺の風を浴びながら約1時間かけて宍道湖の各ポイントを周遊。日本の夕日百選に数えられる松江の自然遺産「宍道湖の夕日」を眺める「サンセットクルージング」は、ロマンチックな時間が過ごせ、とても人気。

〒690-0001 島根県松江市東朝日町150-7 TEL/0852-24-3218

出航時刻/季節によって変動(HP掲載) 定休日/元旦のみ

乗船料/大人1,800円 <https://hakuchougo.jp/>

Gourmet

出雲そば

出雲そばは、殻のついた玄蕎麦を製粉しているのが特徴。ちょっぴり黒みを帯びた艶やかなそばは、香りも風味も豊か。定番の割子スタイルや釜揚げなどでいただく。提供店は市内に多数あり、それぞれが味を競い合っている。

Gourmet

松江おどん

松江おどんは、飛魚(あご)だしのおでんの中にうどんを入れたご当地グルメ。コクのあるだしと、もっちりとしたうどんの相性は抜群で、老若男女に好まれる美味しい。市内数ヶ所の店舗で提供しており、それぞれの食べ比べも楽しい。



Gourmet

お抹茶・お菓子

松江は京都、金沢と並び日本三大菓子、茶処として知られている。松江市は市民の間に茶の湯の文化が根付いており、日本茶のブレンド技術の高さは全国随一。また挽きたてのお茶によく合う和菓子を製造する老舗菓子店舗も多数。「不昧公好み」として今も受け継がれる松江の銘菓や四季の移ろいを表現する創作和菓子をお茶とともに味わって。



尾道

Onomichi



シーズンイベント情報

●尾道みなと祭（4月下旬）

昭和初期に生まれた祭り。現在では創作踊り「ええじゃんSANSA・がり」を中心とした尾道を代表する催し。

●因島水軍まつり（6月下旬～8月下旬）

南北朝時代から室町・戦国時代にかけて因島を拠点に活躍した村上水軍を再現する因島地域の人々が総出で盛り上げるまつりで、島まつり、火まつり、海まつりの3部構成となっている。

●おのみち住吉花火まつり（7月下旬）

江戸中期から始まったもので、西の両国花火とさえ言われた華やかな花火まつり。

●仮装＆コスプレおのみちフェスタ（9月下旬or10月上旬）

アニメや映画などでおなじみのあのキャラクターに扮した参加者たちが尾道の商店街をパレードする賑やかなイベント。

●尾道灯りまつり（10月中旬）

尾道繁栄の歴史を現代に再現し、ほかに灯るぼんぼりを通して“癒しのまち尾道”的ぬくもりを体感するお祭り。

●尾道ベッチャー祭り（11月1～3日）

文化4年（1807）に尾道市内で流行した疫病の平癒祈願ために行われた祈祷に由来するお祭り。

尾道へのアクセス

●飛行機

東京（羽田）～広島 約1時間25分

■広島～尾道 約55分（おのみちバス）

●鉄道

東京～福山 約3時間40分（新幹線のぞみ）

名古屋～福山 約2時間（新幹線のぞみ）

京都～福山 約1時間20分（新幹線のぞみ）

新大阪～福山 約1時間10分（新幹線のぞみ・さくら・みずほ）

■福山～尾道 約20分（JR山陽本線）

博多～広島 約1時間10分（新幹線のぞみ・さくら）

■広島～三原 約30分（新幹線こだま）

■三原～尾道 約12分（JR山陽本線）

お問い合わせ先：尾道商工会議所
TEL/0848-22-2165

Place 01

尾道の渡船

尾道市と対岸の向島までの距離は、海を挟んでわずか300mほど。この狭い海峡は尾道水道と呼ばれており、2社が運営する渡船がせわなく行き交っている。住民や観光客の足として重宝されている渡船の乗船時間は片道わずか5分。船の上から見る尾道市街や向島の姿はレトロでフォトジェニックだ。

おのみち渡し船TEL/0848-38-7761 福本渡船 TEL/0848-44-2711

営業時間：6:06～22:10（各社異なる） 定休日／無休（おのみち渡し船）

・日曜日（福本渡船） 乗船料／大人60円～（各社異なる）

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/32/>



Place 02

島ごと美術館

生口島では1980年に世界一小さなアートプロジェクト「瀬戸田ビエンナーレ」を開催した。その際に島内に設置されたアート作品17点を残しており、自由に鑑賞することができる。海の中に設置された作品など、展示方法もユニーク。作品を探しながら島歩きを楽しんで。



広島県尾道市瀬戸田町一帯 TEL/0845-27-0051（瀬戸田観光案内所）

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/44/2787.html>

Place 03

因島水軍城



村上海賊の至宝や遺跡からの出土品をはじめとした数多くの関連資料を展示する城郭型資料館の因島水軍城。2016年4月、今治市・尾道市にまたがる村上海賊のストーリーが「日本遺産」に認定された。

〒722-2211 広島県尾道市因島中庄町3228-2 TEL/0845-24-0936

営業時間／9:30～17:00（ただし、1月2日、3日は10:00～15:00）

休館日／木曜（祝日を除く）、12月29日～1月1日

観覧料／（一般）：大人 330円、小人（小・中学生）160円

（団体割引）：（30人以上）大人 220円、小人 110円

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/38/1042.html>

Place 04

持光寺 にぎり仏体験



持光寺で自分だけの仏様を作る「にぎり仏体験」ができる。棒に刺した粘土をギュッと握り、顔を描くだけで簡単にMy仏様の出来上がり。作ったあとはお寺で焼き上げ自家まで送ってもらえる。お寺の方が親切に指導してくれるのだから簡単に楽しめる。

〒722-0032 広島県尾道市西土堂町9-2 TEL/0848-23-2411

営業時間／9:00～16:30 定休日／年中無休 【所要時間】約20分～

にぎり仏体験／1,500円（送料別）

<https://shichibutsu.jp/temple/jikouji.php>

Place 05

千光寺ロープウェイ



弘法大師が開いたとされる千光寺は、尾道市のシンボル的存在。寺の周辺は千光寺公園として整備されており、眺望や散策を楽しめるスポットとして人気。麓から山頂まではロープウェイが整備されているので、快適にアクセスができる。山頂からは尾道水道や市街が一望のもの。

〒722-0033 広島県尾道市東土堂町20-1（山頂駅） TEL/0848-22-4900

営業時間／9:00～17:15（15分ごとに運行） 定休日／無休（但しメンテナンス期間あり）

乗車料／大人片道500円、小兒250円、大人往復700円、小兒350円

<https://mt-senkoji-rw.jp/>



広島県尾道市東土堂町 <https://ihatov.in/>



Place 06

猫の細道散策



千光寺ロープウェイの山麓駅から歩いてすぐのところにある坂道を上ると、良神社東口から天寧寺三重塔に至る約200mの細い路地がある。ここには作家・圓山春二先生が生み出した福石猫と呼ばれる猫をモチーフにしたオブジェが点在。時には本物の猫もお目見えする楽しい散策道だ。

広島県尾道市東土堂町 <https://ihatov.in/>



Place 07

しまなみ海道サイクリング

しまなみ海道のサイクリングを楽しむなら尾道港（駅前港湾駐車場）のレンタサイクルターミナルへ。尾道市内から対岸の向島には渡船で渡り、因島大橋、生口橋を経由して各島巡りが可能。自転車の予約、向島や生口島のレンタサイクルターミナルへの乗り捨てても可能だ。

〒722-0036 尾道市東御所町 尾道港（駅前港湾駐車場） TEL/0848-22-3911（しまなみジャパン）

営業時間／13月～11月】7:00～19:00【12月～2月】8:00～18:00

定休日／無休 <https://shimanami-cycle.or.jp/rental/>

レンタサイクル料金／大人1日3,000円～、小学生以下1,000円



Souvenir

レモンケーキ



レモンの生産量日本一の生口島。フレッシュな果実やスイーツなど、レモン商品はお土産にもぴったり。中でもレモン風味のバターケーキにチョココーティングをしたレモンケーキは、各店が工夫を凝らした品が手にはいる。レモンの形もとってもキュート！

Gourmet

尾道ラーメン



イリコや鶏ガラでだしをとり、まろやかな醤油で味付けをした尾道ラーメン。青ネギやチャーシュー、メンマなどの定番のトッピングに加えて、コクのある豚の背脂を加えるのも特徴となっている。ご当地ラーメンとして全国的な人気。

今治

Imabari



シーズンイベント情報

●今治タオルフェア（5月・10月）

日本最大のタオル産地今治で春と秋2回開催。今治産地のメーカーによる展示即売会や新商品発表展示・小中学生タオルデザイン展・織物体験コーナーあり。

●今治市民のまつり「おんまく」（8月）

踊り、郷土芸能、花火の3本柱を中心に開催される。中四国最大級の花火大会には、毎年20万人を超える人出がある。

●地場産品セレクトマーケット（10月）

タオルをはじめとした地域の特産品が集結し、タオルなどは特別価格で販売される。大抽選会や親子で楽しめる体験教室の他、各地区から選りすぐりの地場産品もある。

今治へのアクセス

●飛行機

東京(羽田)～松山 約1時間20分

名古屋(中部)～松山 約1時間

大阪(伊丹)～松山 約50分

福岡～松山 約45分

■松山～今治 約1時間10分(車)

●鉄道

東京～岡山 約3時間20分(新幹線のぞみ)

名古屋～岡山 約1時間40分(新幹線のぞみ)

大阪～岡山 約45分(新幹線のぞみ)

博多～岡山 約1時間45分(新幹線のぞみ・さくら)

■岡山～今治 約2時間10分(JR特急しおかぜ)

●フェリー

大阪(大阪南港)～東予港 約8時間

■東予港～今治 約1時間(接続バス)



お問い合わせ先：今治商工会議所
TEL/0898-23-3939

Place 01

しまなみ海道サイクリング

瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)に沿って走る自転車道を爽快サイクリング。島々でおいしいものや島の人との出会いも自転車旅の醍醐味！サンライズ糸山をはじめ、各島にレンタサイクルターミナルあり。

TEL/0898-41-3196(今治市サイクリングターミナル サンライズ糸山)
営業時間/8:00～18:00(3月～11月は8:00～20:00) 定休日/無休
レンタサイクル料金/大人1日3,000円～ <https://www.sunrise-itoyama.jp/>

Place 02

コンテックスタオルガーデン今治

1950年に建てられたタオル工場をリノベーションした、タオル雑貨のファクトリーショップ＆カフェ。レンガ造りの建物の内部には、オリジナリティ溢れる個性豊かな今治タオルをディスプレイ。予約制で工場見学も可能。

〒794-0083 愛媛県今治市宅間甲854-1
TEL/0898-23-3933 営業時間/10:00～17:45
定休日/月曜(祝日の場合翌日)
<https://kontex.co.jp/>



Place 03

進水式見学会(しまなみ造船)



〒794-2303 愛媛県今治市伯方町伊方甲2321
TEL/0897-72-1121
<https://shimanami-shipyard.co.jp/>

日本最大の海事都市であり、造船王国としても有名な今治。伯方島にある「しまなみ造船」の進水式見学会では、華やかに海へ進水する新造船の様子を間近に見ることができる。



Place 04

伊予桜井漆器会館



〒799-1527 愛媛県今治市長沢甲340-1 TEL/0898-48-0418
営業時間/10:00～18:00 定休日/火曜(祝日の場合翌日)
<http://www.sakuraishikki.com/index2.html>

愛媛の伝統工芸・桜井漆器。館内では、椀や箸、小鉢、盆など桜井漆器の作品を幅広く展示販売するほか、製作工程の見学もできる。江戸時代より伝わる熟練の技に触れ、お気に入りの一品に出会いたい。

Place 05

タオル美術館



〒799-1607 愛媛県今治市朝倉上甲2930 TEL/0898-56-1515
営業時間/9:30～18:00(ギャラリー見学は閉館30分前まで)
定休日/無休(1月休館日あり)

入館料/大人800円、中高生600円、小学生400円 <https://www.towelmuseum.com/>

世界に珍しいタオルアートを展示するミュージアム。タオルでつくられたアート作品のほか、タオルの製造工程の見学もできる。花と緑溢れるヨーロピアンガーデンでは可愛らしいムーミンの仲間たちがお出迎え。



Place 06

潮流体験



かつて日本最大の海賊と呼ばれた海賊衆、能島村上氏の本拠地である宮窪瀬戸の潮流を船上から体感。国指定史跡の能島や、最大10ノット(時速約18km)にもなる潮流の大迫力…。村上海賊の歴史ロマンを堪能できる。

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町1293-2 村上上海賊ミュージアム前
TEL/0897-86-3323(能島水軍)
営業時間/9:00～16:00(1時間毎に随時運航、最終受付16:00)
定休日/月曜(祝日の場合翌日) 料金/一般1,500円、小学生700円、小学生未満無料
<http://www.noshima.jp/choryu>

Gourmet

今治鉄板焼鳥



今治鉄板焼鳥は、その名の通り、鉄板に鶏肉や鶏皮を並べ、プレスと呼ばれる道具で押し付けながら焼くスタイル。甘辛いタレが食欲をそそる一品だ。

Gourmet

今治焼豚玉子飯



焼豚と玉子を飯にのせたシンプルな丼は、老舗中華料理店のまかないから生まれたという今治のご当地グルメ。焼豚を煮込んだタレでご飯が進む！

今治焼豚玉子飯世界普及委員会
TEL/0898-24-2020
<https://i-ytm.com>



松山

Matsuyama



シーズンイベント情報

●松山城「お城のお正月」(1月1~3日)

獅子舞の披露や豚汁の無料配布、伝統的行事など様々な催しを実施。

●椿まつり (1月下旬~2月下旬)

※旧暦の1月7・8・9の三日間

「椿神社」「お椿さん」の名で親しまれ、縁起開運・商売繁昌の神様として有名な神社。毎年全国各地から約50万人の参拝者が訪ね賑わう。

●松山春まつり (4月初旬)

「お城まつり」と「道後温泉まつり」の総称で松山の春最大のまつり。「お城まつり」では、桜の咲き誇る松山城や市内中心部を舞台に公募市民が扮した殿様、お姫様、大名、武者などが勇壮・絢爛に歩く。

●松山野球拳おどり (8月初旬~中旬)

昭和41年に始まった松山の夏を代表するまつり。松山発祥の「野球拳」より派生した野球拳おどりで盛り上がる。

●松山秋祭り (10月7日)

「もてこい、もてこい」の掛け声とともに、荒々しくみこし同士をぶつけ合う「鉢合わせ」のさまは壮観。

松山へのアクセス

●飛行機

東京(羽田)～松山 約1時間20分

名古屋(中部)～松山 約1時間

大阪(伊丹)～松山 約50分

福岡～松山 約50分

●鉄道

東京～岡山 約3時間20分(新幹線のぞみ)

名古屋～岡山 約1時間40分(新幹線のぞみ)

大阪～岡山 約45分(新幹線のぞみ)

博多～岡山 約1時間45分(新幹線のぞみ・さくら)

■岡山～松山 約2時間50分(JR特急しおかぜ)

●フェリー

広島～松山観光港 約1時間10分(高速船)

小倉～松山観光港 約7時間5分(松山・小倉フェリー)

お問い合わせ先：松山商工会議所
TEL/089-941-4111

Place 01

道後温泉本館・道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

日本最古の温泉といわれる道後温泉。明治27年(1894)に改築された「道後温泉本館」は、木造三層樓の建物に神の湯、靈の湯という2つの浴室と休憩室、さらに皇室専用の又新殿(見学可)を備えている。平成6年(1994)、日本の公衆浴場として初めて国の重要文化財に指定された。2017年9月、愛媛の伝統工芸で演出する「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」が第三の外湯として誕生。

Place 02

子規記念博物館

松山出身の俳人・正岡子規の世界を通して、松山や文学について幅広く紹介した文学系博物館。常設展示室には子規と夏目漱石が共に過ごした愚陀佛庵を展示。(復元)



句碑めぐり

多くの俳人を輩出した俳都・松山。市内には彼らの句碑が点在しているので訪ね歩きたい。

〒790-0857 愛媛県松山市道後公園1-30 TEL/089-931-5566

営業時間/9:00～17:00(5月～10月は～18:00)※入館は各30分前まで 定休日/シーズンにより変動
入館料/大人400円(特別展観覧料は別途)、高校生以下無料 <https://shiki-museum.com>

Place 03

坊っちゃん列車



坊っちゃん列車ミュージアム

〒790-0012 愛媛県松山市湊町4-4-1 TEL/089-948-3290

開館時間/7:00～21:00 定休日/無休

<https://www.iyotetsu.co.jp/museum/>



Place 04

坊っちゃん劇場



日本で唯一、自主制作のミュージカル作品を1年間上演する常設劇場。四国や瀬戸内圏の歴史や文化、偉人を題材にしたミュージカルを上演しており、大人から子供まで楽しむことができる。出演者は、東京の舞台で活躍している役者を、毎年オーディションで選んでいて、地方で本格的な舞台を観劇することができる。

〒791-0211 愛媛県東温市見奈良1125 電話/089-955-1174 FAX/089-955-5830

観劇料金/(当日)一般4,500円、高校生3,200円、中学生以下2,700円

(前売)一般4,200円、高校生2,900円、中学生以下2,400円

<https://www.botchan.co.jp/index.php>

Place 05

砥部町陶芸創作館



国の伝統的工芸品である砥部焼の手づくり体験ができる施設。呉須(ごす)と呼ばれる顔料で濃淡をつけて描く絵付け体験をはじめ、土から器などをつくる手びねり、電動ロクロを扱うロクロ体験もできるので、旅の記念にチャレンジしたい。

〒791-2133 愛媛県伊予郡砥部町五本松82

TEL/089-962-6145 営業時間/9:00～17:00(入館は～16:00)

定休日/木曜(祝日の場合翌日)、12/29～1/3

体験料/絵付け体験300円～、手びねり体験・ロクロ体験1,500円～(要予約)



Gourmet

鰯めし



松山の鰯めしは、鰯を炊き込むスタイル。瀬戸内海で獲れた新鮮な鰯の旨みがお米の一粒一粒に染み込んだ炊きたては格別の美味しさ。

Souvenir

タルト・坊っちゃん団子



江戸時代、松山藩主により伝えられたというタルトは、カステラ生地で餡を巻き込んだ郷土菓子。夏目漱石ゆかりの小説『坊っちゃん』にも登場した坊っちゃん団子。

